

① 里山民家等の地域資源の活用

- 地域の資源である里山民家や総合体育館等を活用し、No. 5 駅周辺のにぎわいを創出する。
- 里山民家や市内に点在する寺社仏閣などの歴史・文化資源の魅力を発信する。

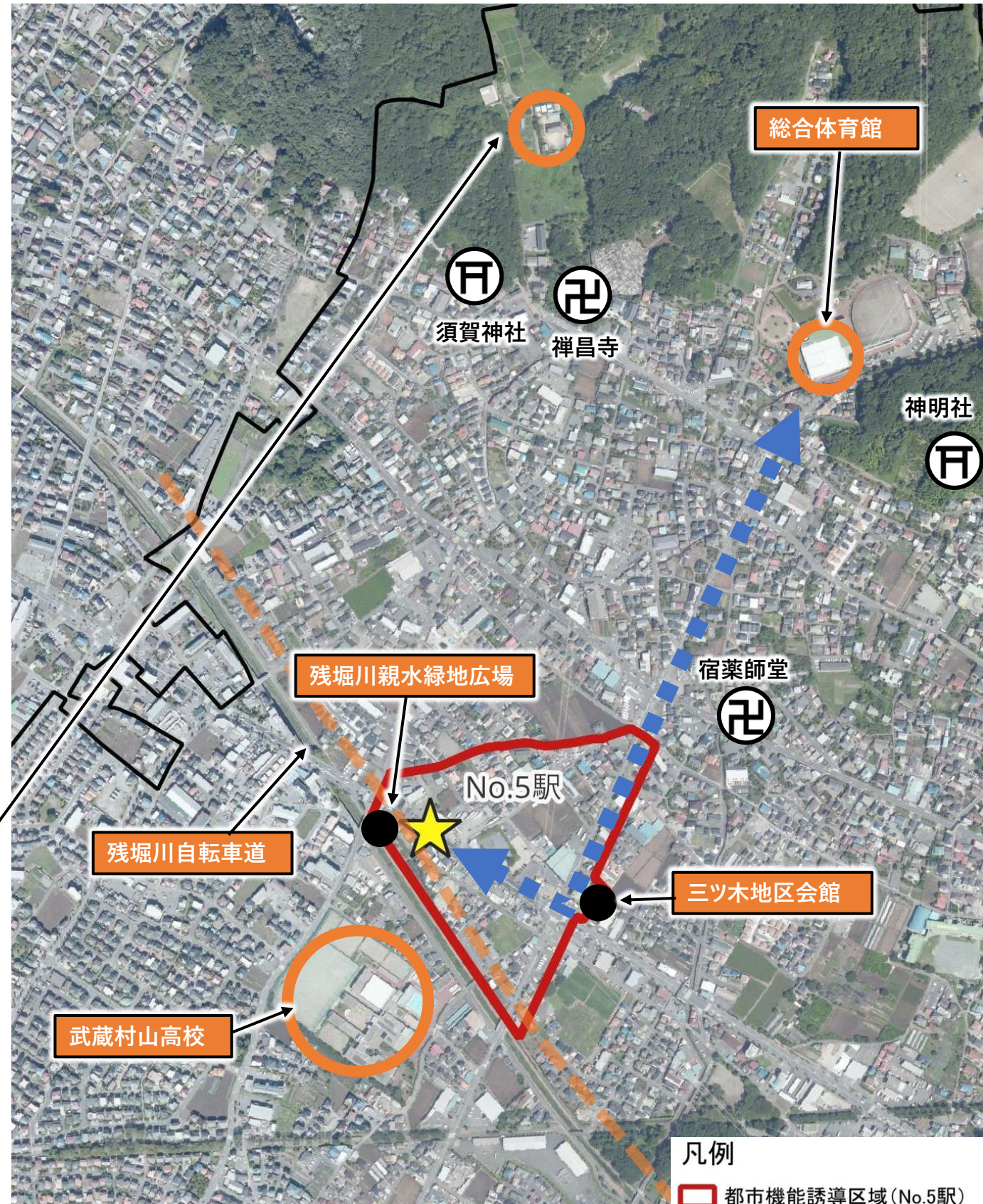
視点		望ましい取組
(1) 里山民家の活用と魅力向上	・里山民家の活用	・憩い、活動できる空間の創出
	・里山民家への道のりも含めた魅力向上	・No.5駅から里山民家や総合体育館への交通手段の確保 ・蔵を利用したカフェ等の住宅地と調和した店舗の立地誘導 ・里山民家に至る道の無電柱化による景観向上・フォトスポット化
(2) 歴史・文化資源の魅力発信	・寺社仏閣や里山の歴史の積極的な活用やPR活動	・観光まちづくり協会と連携したPR活動 ・寺社仏閣の祭礼への参加促進 ・高校や小中学校における学習との連携
(3) 総合体育館の利活用	・若者の活動の場として活用	・学生の部活動の場として利用
	・運動公園機能の拡充	・屋外運動場の整備



※出典1、2



里山民家



凡例

都市機能誘導区域 (No.5駅)

② 若者の居場所づくり

- 武蔵村山高校など、教育機関と地域の連携を推進し、若者の活動場所と地域活動の場を創出する。
- 三ツ木地区会館の再整備を検討し、若者の居場所や地域の交流の核となる施設として活用する。

視点		望ましい取組
(1) 若者と地域の連携	・若者の活動の場や居場所を創出	・残堀川などの地域資源を生かした、活動場所の創出 ・Wi-Fi完備の自習・学習スペース ・ゆっくりできる飲食店の誘導
	・学生と地域活動の連携	・市、地元企業、高校生が連携した地域の課題解決の取組 ・武蔵村山高校での地域活動の実施 ・校外での部活動の場の創出
(2) 三ツ木地区会館の再整備	・学生を中心とした若者の居場所づくり	・Free Wi-Fi完備の自習・学習スペースの設置 ・飲食可能なカフェ的空間の設置 ・利用したくなる外観デザインへの刷新
	・機能の充実と多目的化	・図書館機能の再考 ・会議のための設備拡充 ・部屋数の増加 ・楽器の制限のない防音室
	・多世代が交わる交流プログラムの展開	・高校生による高齢者向けスマートフォン講座等の世代間交流 ・産学連携による講演会・講座の開催

【参考】武蔵村山高校の活動（例）
地域連携探求 ※出典：武蔵村山高校ホームページ



- 【参考】三ツ木地区会館
- 現状
- ・自発的な学習活動や交流の場として、施設・設備を提供している。
- 主な機能
- ・集会室
 - ・学習室（防音設備完備）
 - ・休養室（和室）
 - ・保育室
 - ・実習室
 - ・研修室
 - ・Wi-Fi使用可
 - ・図書館併設

※出典：武蔵村山市ホームページ



- 【参考事例】池ノ上青少年交流センター（世田谷区）
- 概要
- ・「やりたい」に挑戦できる若者の居場所として、さまざまな体験の場や地域との交流を提供する青少年交流施設
 - ・昭和54年に社会教育施設として開設され、平成26年に青少年交流施設としてリニューアル



ダンスやライブが可能な音楽室

交流スペースではFree-Wifiが利用可能

※出典：池ノ上青少年交流センターホームページ